

2021年度

# 事業計画書

自 2021年4月 1日  
至 2022年3月31日

特定非営利活動法人日本スポーツボランティアネットワーク

## 2021年度 事業計画

### 1. 目的

我が国のスポーツボランティア文化の醸成を図り、国民の生涯にわたるスポーツ活動を通じて豊かな生活の形成に寄与することを目的に、以下の事業を実施する。

### 2. 事業

- (1) スポーツボランティアに関する普及・啓発
- (2) スポーツボランティアに対する各種研修会の開催
- (3) スポーツボランティアに関する調査研究
- (4) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### 3. 事業実施の方針

2019年末に発生した新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、国民の暮らしが大きな影響を受けている。スポーツにおいても、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の1年延期や各種競技大会・イベントの中止・延期、プロスポーツ興行における観客数の制限、「3密」を避けるための日常的なスポーツ活動の様々な制約など、その範囲はあらゆる活動に及んでいる。このため、スポーツの基盤をささえるボランティア活動の機会や規模も大幅に減少、縮小している。

当会では、当面の間は同様の状況が続くことを想定し、2020年度に着手したスポーツボランティア養成プログラムのオンライン開催の一層の充実や、新型コロナウイルス感染のリスクを低減した対面式養成プログラムの実施とそのノウハウの提供に努める。さらに、東京オリンピック・パラリンピックとワールドマスターズゲームズ2021 関西(2022年に延期)のボランティア養成への協力と、大会後のボランティアの活動の受け皿づくりに積極的に取り組む。大規模大会で活躍したボランティアの受け皿として、国民体育大会とJリーグをはじめとするプロスポーツ・トップスポーツのホームゲームの活動機会の確保を進める。これらの事業を通じて、ボランティアの活動意欲の維持・向上と、スポーツボランティアに対する国民の理解促進を図る。

2021年度も、社会状況や人々のニーズの変化を的確にとらえながら、会員団体の拡充、スポーツボランティアの養成およびスポーツボランティアの意義を広く啓発する事業に取り組み、当会の社会的評価の向上に努めたい。

#### 4. 事業の実施に関する事項

##### 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出 見込額 (千円)
スポーツボランティアに関する普及・啓発	会員拡充	通年	全国	8名	正会員(団体)65、(個人)17 賛助会員1(団体)10 賛助会員2(団体)10	4,623
	会員団体による情報発信および情報管理	通年	インターネット	8名	ホームページを活用した会員団体の普及・啓発	0
	コーディネート事業(スポーツボランティア紹介)	通年	全国	8名	350事業	0
スポーツボランティアに対する各種講習会の開催	スポーツボランティア養成プログラムの実施(共催事業含)	4月～	全国	8名	スポーツボランティア研修会 39回 計2,070名 リーダー養成研修会 23回 計1,310名 上級リーダー養成研修会 3回 計50名 コーディネーター養成研修会 1回 計5名 スキルアップ研修会2回 計40名 ライセンス更新講習会19回 計440名 合計 87回 のべ3,915名	7,569
	公開講座の開催	6月～	東京都	8名	2回 計60名	769
	スポーツボランティアアサミットの開催	9月	福島県	8名	1回 計500名(有料参加者200名)	1,809
	大規模スポーツイベントへの協力	4月～	全国	38名	東京オリンピック・パラリンピック(2021年) ・開催自治体及びキャンプ地での講演会、 大会後のボランティア活用の支援 ワールドマスターズゲームズ関西(2022年) ・ボランティア研修会の講師派遣 ・開催自治体での講演会等	1,761
	事務局の強化	通年	東京都等	18名	事業遂行に係るスタッフの配置	15,844
スポーツボランティアに関する調査研究	スポーツボランティア団体活動実態調査	4月～	全国	8名	競技団体、プロスポーツチーム等	0
広報活動	スポーツボランティアに関する情報発信	通年	インターネット	8名	ホームページ(スポボラ.net) ・募集情報、各種研修会の開催案内等	5,988
講演	外部からの依頼に対する情報提供	通年	全国	30名	大学、行政、企業等	0
						38,386